

Uccheddu Lorenzo

La città del carbone

【石炭の街】写真展



イタリアのサルデーニャ島に位置するカルボーニア市で撮影された写真の展覧会です。カルボーニア市はファシズム時代に炭鉱の街として誕生しました。

写真家：Uccheddu Lorenzo (イタリア・サルデーニャ島出身)

撮影アシスタント：Lai Ester (イタリア・サルデーニャ島出身)

La città del carbone

【石炭の街】写真展

11 November 2015

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23

OPEN 10:30 ▶ 17:30 CLOSE

Progetto "Sora-Degna"
空デーニャ・プロジェクト

昔の写真の協力：Comune di Carbonia [サルデーニャ島カルボーニア市]

場所

そらち炭鉱の記憶マネジメントセンター 石蔵ホール
〒068-0021 北海道岩見沢市1条西4丁目3

日時

2015年11月8日(日)～23日(月・祝)
(開館時間 10時30分～17時30分 / 月曜、火曜休館)

2015年11月15日は、イタリアエスプレッソ協会 (INEI) 認定、本物のイタリアコーヒー(カップッチーノ、エスプレッソ)、サルデーニャ島のお菓子を販売します。



【Bar Fioreオーナー・笹谷海】

IIAC(国際カフェテイスト協会認定バリスタ)、JBA(ジャパンバリスタ協会認定バリスタ)、Espresso Italiano Specialist(エスプレッソイタリアーノスペシャリスト)の資格を有する。



イタリア情報満載
イタリア大好きドットコム



NPO 法人 炭鉱の記憶推進事業団

【石炭の街】写真展

La città del carbone

“イタリアと北海道の空知地方、遠く離れた二つの場所が石炭という黒いダイヤで繋がる。”

カルボーニアは「炭鉱の街」として発展した都市で、この地域に豊富に埋蔵されている石炭を意味するイタリア語「Carbone」が都市名の由来となっています。空知地方とイタリアのサルデーニャ島の形が似ていること、そして両地域とも石炭産業により鉄道・炭鉱街が生まれ大きく発展したという歴史、本展ではカルボーニアの石炭産業に関する昔と現在の写真により、遠く離れたイタリアでの炭鉱の記憶が見られます。



空デーニャ・プロジェクトとは



空デーニャ・プロジェクトへの応援、協力をお願いいたします。詳しい情報は www.sora-degna.com にアクセスしてください。

「空デーニャ・プロジェクト」とは、「北海道の空知地方」と「イタリアのサルデーニャ島」から生まれた造語です。本プロジェクトの目的は、両地域の友好関係を築き、交流を深めることを目標としています。

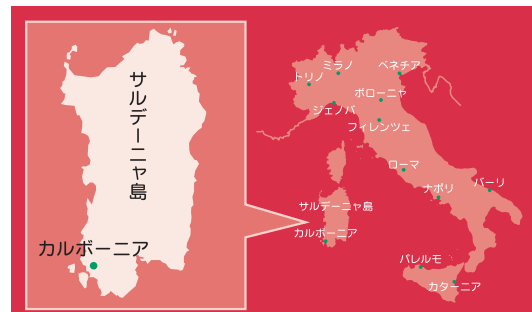
「空知」と「サルデーニャ島」の形がそっくりなだけでなく「炭鉱で栄えた時代があった」、「石炭産業のために鉄道も敷かれた」、「今日の基幹産業は農業」、「ワインづくりが盛ん」、「イタリア人にとってサルデーニャ島は、日本人にとっての北海道のイメージと同じように行きたい場所、リゾート地」、「自然の雄大さ」など様々な共通点があります。



ウッケットツオウ・ロレンツォ

◆プロフィール:

1989年9月14日生まれ。写真との出会いは10歳の誕生日。プレゼントされたコンパクトカメラで写真撮影をスタート。現在は、「サルデーニャ島の美しさ」をテーマに、景色とモニュメントを撮る写真家として活躍。サルデーニャ島のスルチス (Sulcis) 地方の各種イベント撮影を公的機関からも依頼される。カリアリ市の文化イベント「Monumenti aperti 2014」の中で個展も開催。



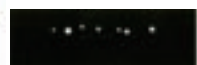
■主催: ジェイ・アイ・エクスチェンジ株式会社 / NPO法人炭鉱の記憶推進事業団

■後援:

- *北海道空知総合振興局
- *岩見沢市
- *岩見沢市教育委員会
- *北海道日伊協会
- *株式会社イーストン
- (イタリア料理チェーンクッチーナ/ミア・アンジェラ/ミア・ボッカ)

*イタリア大使館

*カルボーニア市関係



CENTRO ITALIANO DELLA CULTURA DEL CARBONE CARBONIA

■協力: *三笠市